

老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2018年 4月
発行責任者：永井 敏也
発行者：広報委員会

シスターのこぼ

「復活の主は私たちのただ中におられる」

教会は4月1日に主の復活を祝いました。

復活の主に出会った弟子たちの様子が聖書の中に描かれている。それは私たちの間にも復活された主が生きておられる。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイ28.20)

『婦人たちは、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。見ると、石が墓のわきに転がしてあり、中に入っても、主イエスの遺体は見当らなかった。そのために途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人が、そばに現れた。婦人たちが恐れて地に顔を伏せると二人は言った。「なぜ、生きておられる方を死者の中に探すのか。あの方はここにおられない。復活なさったのだ。」

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちにご自身を現わされた。シモン・ペトロが「わたしは漁に行く」と言うと他の弟子たちは、わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って船に乗り込んだ。しかし、その夜は何も取れなかった。すでに夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちはそれがイエスだとは分からなかった。イエスは「子たちよ、何か食べる物があるか」と言われると、彼らは、「ありません」と答えた。イエスは云われた。「船の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」そこで、網を打つと、魚があまり多くて、もはや網を引き揚げるができなかった。』 長い引用になったが、復活した主の愛と慈しみを、弟子たちはこのように体験しています。復活の主は、ご自分の存在を日々の生活の中で認識するよう導いておられる。わたしたちの日常のただ中において、私たちと共に私たちの傍らを歩いておられる。それに私たちが気づかないのだろう。復活の主を、違うところを探しているのだろう。主の受難と死、復活を通してもたらされた新しいのちは、悩み、困難のただ中でわたしを待っておられる。神の計り知れない愛の力は、十字架の上で現れた。復活の主はその「同じ」、十字架にかけられた主である。



抜粋 カトリック生活 2018年3月 「主の復活」岡 立子
カトリック社会事業室 Sr.高橋順子

— 利用者様の作品 —



平成30年度介護報酬が改定されました！

平成24年度の改定以来、6年ぶりの診療報酬との同時改定となりますが、今回の改定にはさらに障害福祉サービスの報酬も加わりトリプル改定とも言われています。

さて、老人保健施設（以下、「老健」といいます）にとってその内容はどのように変わったのかを、簡略にお話しさせていただきたいと思います。

平成29年に、高齢化社会対策として国が強く進めている「地域包括ケアシステム強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が成立、その内容は、老健の機能として「在宅支援機能」がより鮮明に示されたことを受け、改定の内容もそれに準じたものになりました。

また、地域において医療と介護がつつがなくつながって、より連携強化を図るという方向性も明確に打ち出されている改定となりました。在宅を重視する従来の流れがより強化されたと言えます。介護報酬全体としては、0.54%のプラス改定となりましたが、これは介護人材不足の常態化により、介護職員の離職率が悪化する中、持続的で一定の質を保つことが要求される介護現場を守るため、介護関係13団体による181万人を超える署名運動の結果が実る形となりました。人材不足を補うための一時的応急処置とも言えますが、より根本的な対策が求められているのが現状です。

何はともあれ、老健サンタマリアとしては、これまでよりも一層地域とのつながりを大切に、地域の皆様ができるだけ「健康寿命」を全うされるように、その一役を担えるべく、日々努力を続けてまいりたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

事務長 韓 宗勲

サンタカフェここのす（認知症カフェ）オープンしました！ （お知らせとご案内）

本年度5月より、毎月第2水曜日13:30～15:30の予定で開催いたします。
初回のオープニング（開店）日は5月9日（水）です。



認知症カフェとは、住み慣れた地域の中で、認知症のご本人やご家族様、在宅介護等で同じようなお悩みを抱えていらっしゃる方々、認知症などにご関心のある方など、どなたでも気軽にお越しいただける、交流の場となります。サンタカフェここのす（認知症カフェ）の目指すところは、認知症の方においては自ら活動し、楽しめる場所として、ご家族の方には分かり合えるひとと出会う場所として、そして認知症や介護などの専門職の人は、ひととして介護等について共通の悩みを抱える方たちと触れ合える場所として、地域住民同士がつながりを再構築する場所としての役割が果たせられたらと期待するところです。地域住民を中心にすべての方々が自分の良いところを分かち合うことでお互いが支えあって生きる社会となればと願っております。

皆様、どうぞお気軽に立ち寄って心地よいふれあいの場を築いてくださるようよろしくお願い申し上げます。

運動会①

平成29年10月11日 (水)



運動会②



バザー

平成29年11月29日 (水)



クリスマス会

平成29年12月6日 (水)



ボランティア感謝式

平成29年12月11日 (月)



東山教会聖歌隊慰問

平成29年12月13日 (水)



クリスマスミサ

平成29年12月20日 (水)



餅つき

平成29年12月27日 (水)



施設祝福式

平成30年1月30日 (水)



豆まき

平成30年2月2日 (金)



パステルアート

平成30年3月23日 (金)



お花見

平成30年3月28日 (水)



毎日簡単体操 ～嚙下編～

今回は飲み込みの筋力を鍛える体操を紹介します。
テレビを見ながらなど、合間を見つけて行ってみてください!

あご持ち上げ体操

あごと親指で押し合う。
5秒間を5回



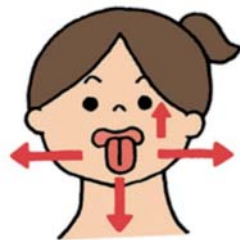
おでこ体操

おへそをのぞき込むように、
おでこで手で押し合う。
5秒間を5回



舌出し

上下と左右に舌を大きく
動かす。
それぞれ10回ずつ



首回し

時計回り・反時計回りに
大きく回す。
それぞれ3周ずつ



地域とのふれあい

地域住民による「このすマスターズ」へ年に数回の参加を予定しております。

平成29年度は永井施設長による「認知症について」の講義やリハビリスタッフによる健康体操など行いました。



あじさいボランティアの募集 !!

ボランティア「グループあじさい」では毎週月曜日と水曜日に喫茶・歌の会を行っています。

一緒に楽しいひとときをすごしませんか?

また、趣味や特技を活かしたアート教室などの持ち込み企画もお待ちしております。



平成30年4月 新入職員紹介

4月1日 新しく6名のスタッフが入職しました。(上段左から)

平野	<small>りょう</small> 綾	(介護福祉士)
伊藤	千帆香	(作業療法士)
鈴木	順子	(事務職員)
古澤	しのぶ	(介護福祉士)
伊藤	悠衣	(介護福祉士)
稲垣	寛菜	(介護福祉士)



社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101

電話：052 (803) 3611

FAX：052 (803) 7435

Email：info@santamaria.or.jp

ホームページ：http://www.santamaria.or.jp



◀スマートフォンは
こちらから

次回発行予定 2018年10月